

お客様・販売店様・特約店様用

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。



警告

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかが示されています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

この壁掛けユニットは下記指定機器専用です。指定機器以外にはお使用にならないでください。

指定機器（2004年9月現在）

壁掛けユニット	SU-PW3S	SU-PW3M
フラットパネルデジタルテレビ		KDE-P37HVX KDE-P42HVX KDE-P50HVX
液晶デジタルテレビ	KDL-L26HVX KDL-L32HVX	KDL-L40HVX

SU-PW3S/SU-PW3M

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしったり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告表示の意味

取扱説明書では、下記のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止

お客様へ

警告



火災



感電

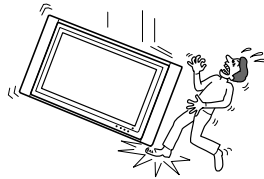
下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する
また取り付けのときは幼児を遠ざける
正しく取り付けないと、以下のようなことがおこります。取り付けは専門業者にご依頼ください。

- テレビが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビ重量の4倍に耐えられる強度が必要です。(テレビの重量は11ページのテレビ取り付け寸法表をご覧ください。)
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。



禁止



テレビの移動や取りはずしは、専門の業者に依頼する
専門業者以外の方が移動や取りはずしを行うと、テレビが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取りはずしは、必ず2人以上で行ってください。

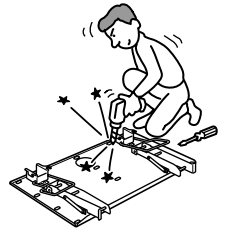
テレビに水などの液体をかけない
水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない
テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の分解、改造、変更は行わない
壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。



禁止



指定機器以外のものを掛けない

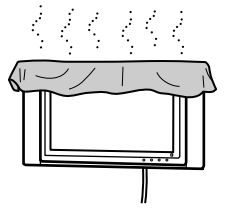
この壁掛けユニットは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

テレビの通風孔をふさがない

テレビの上に布などをかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

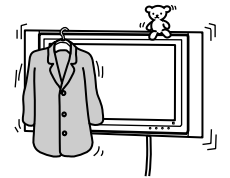


テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。



禁止



テレビに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。



禁止



テレビを雨や湿気にさらさない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

湿気やほこり、湯気の多い場所、機械的振動の多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

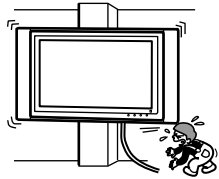
火のついたロウソクや燃えやすい物を近くに置かない

火災を防止するために、テレビから離れた所に置いてください。

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の
家財に損害を与えたりすることがあります。

テレビがはみ出すような取り付けはしない
壁掛けユニットを、柱などのテレビがは
み出してしまうような場所には取り付け
ないでください。身体や物などがぶつ
かってけがや破損の原因となります。



掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたり
しないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりする
と、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けご使用されたときは、
壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁
面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合には、壁にネ
ジ穴が残ります。
- 壁の中に300 フィーダー線をすでに使っている場合は、壁の中の
300 フィーダー線を75 同軸線に変更することをおすすめしま
す。
やむを得ず300 フィーダー線を使用する場合は、設置工事を始め
る前に、テレビと壁の中にあるフィーダー線との距離が十分に確保
できているかを確認してください。
また、雑音電波などの影響がでない場所などを事前に設置業者の方
とご確認のうえ、工事を始めてください。
- 本機のスピーカー部分には強力なマグネットを使用しているため、
周囲に磁気が発生します。磁気の影響による故障など、不具合のお
それがあるものは、本機のスピーカー部分に近づけないでくださ
い。

壁掛けユニットを取り付ける

販売店様・特約店様用

⚠ 警告 お客様へ

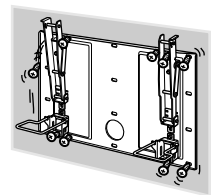
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必
ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確
実に取り付けを行ってください。

販売店様・特約店様へ

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよく
お読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってくだ
さい。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、
壁掛けユニットが落下して、けがや破損
の原因となります。壁の材質に合ったネ
ジ(M8相当4本以上)で、しっかりと固
定してください。



付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を
守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用
すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損
の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがありま
す。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落
下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損
したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面
にはさんだり、無理に曲げたり、ねじった
りすると、芯線が露出したり、ショート、
断線して、火災や感電の原因となりま
す。



取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する

壁掛けユニットやテレビを取り付けると
きに、手や指を傷つけないようにご注
意ください。

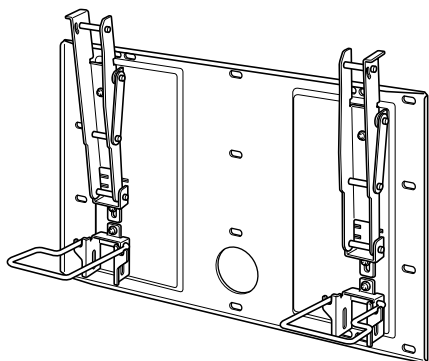
壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用く
ださい。

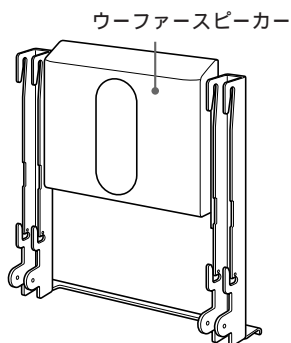
手順1：取り付けに必要な部品を確認する

1 取り付ける壁の材質に合ったM8相当4本以上のネジ(付属品ではありません)とドライバーを用意する。

2 梱包を開いて、部品を確認する。



プレートユニット(1)



ウーファースピーカー

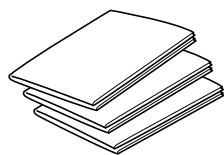
マウンティングフックユニット(1)



フック(4)



ネジ + B6×L20(4)



型紙(3枚1組)



ネジ + PSW5×L14(6)

型名記載のないテレビのイラストはKDE-P42HVX、壁掛けユニットのイラストはSU-PW3Mです。

手順2：取り付け位置を決める

1 垂直で平らな壁面に、型紙をあて、それぞれのテレビに合った取り付け位置を決める。

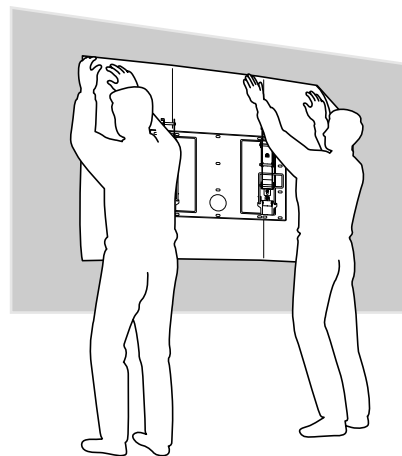
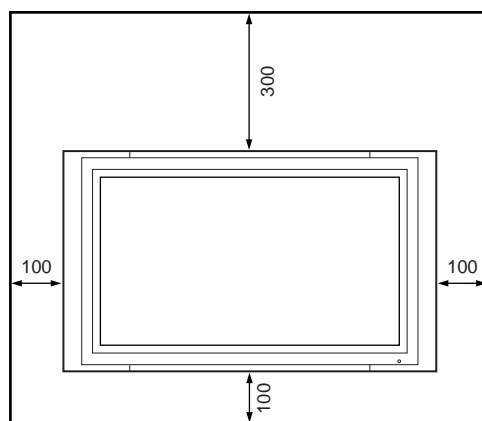
付属の3枚の型紙を市販のテープ等で貼り合わせてご使用ください。貼り合わせかたについては、型紙をご覧ください。

また、テレビの周囲には、下図に示す寸法のあきが必要です。

ご注意

壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかをお確かめください。穴の位置は、型紙および12ページの壁面加工用寸法図に示されています。

単位：mm



2 型紙や裏表紙の壁面加工用寸法図を参照して、ネジ穴の位置と壁の中にケーブル類を配線する場合にあける穴の位置を確認し、壁面加工を行ってください。

警告

取り付ける壁にはテレビ重量の4倍に耐えられる強度を要します(⑩11ページ)。取り付け位置の壁面強度をご確認ください。強度が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

手順3：プレートユニットを壁に取り付ける

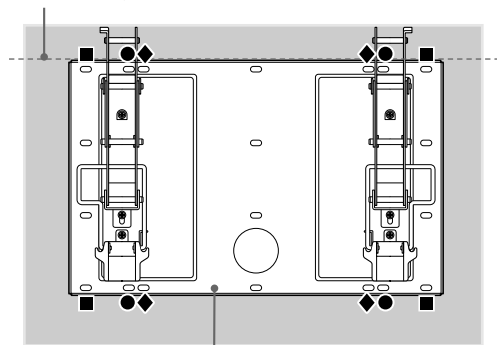
1 プレートユニットをM8相当4本以上のネジ(付属品ではありません)で固定する。

下図で示す同じ印のネジ穴を少なくとも4か所選び、ゆるみがないようにしっかりとネジ留めしてください。

警告

- 壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません。必ず、壁の材質や構造に適したネジをご用意ください。
- 強度不足のときはネジを追加してください。
- プレートユニットが確実に壁に取り付けられたかを確認してください。

水平になるよう調整する



プレートユニット

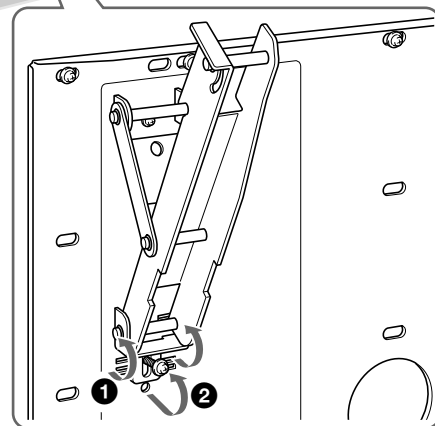
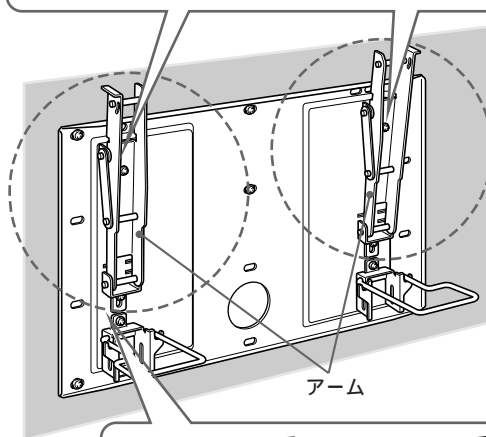
2 アームの角度を調整する。
テレビを垂直に取り付けて使用する場合(0°)は、角度調整(以下①②)をする必要はありません。アームがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

- ① 左右アームのそれぞれまん中にある上下2本のネジをはずして、変えたい角度のきりかきにあームを付け替える(5°、10°、15°、20°)。
- ② アームの下側を①でははずしたネジでしっかりと固定する。

ご注意

- 左右のアームは必ず同じ角度に調整してください。
- アーム付け替えの際は、指をはさまないようにご注意ください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおおよそ2N・mに設定してください。

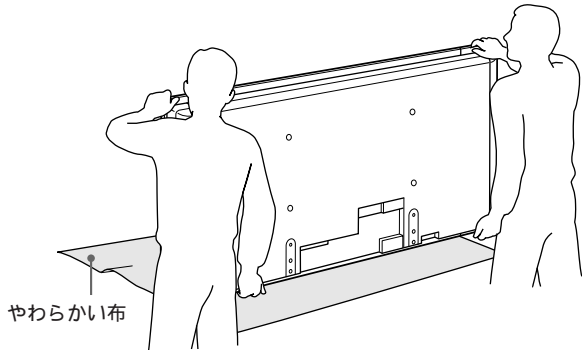
- 角度0°：白いネジははずさない。
- それ以外の角度：白いネジをはずす。



手順4：テレビの取り付け準備をする

マウンティングフックユニットにテレビを掛けるためのフックを取り付ける。

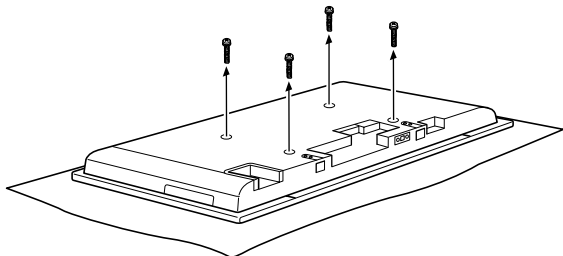
- ① やわらかい布を床に敷き、画面を下にしてテレビを置く。



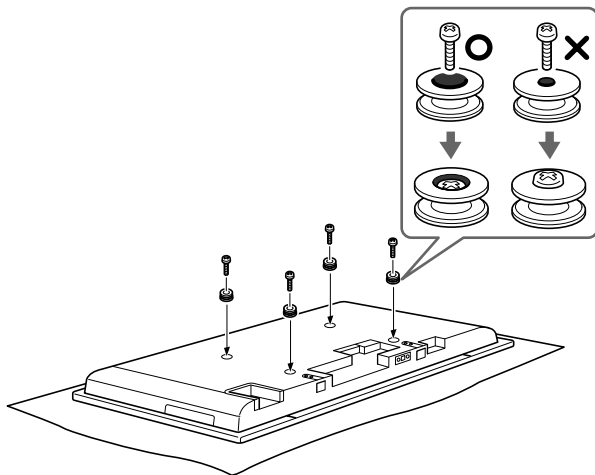
ご注意

- テレビは必ず2人以上で持ち、上下の透明部は持たないように注意して運んでください。
- テレビを伏せたまま長時間放置しないでください。塗装面に跡が残ることがあります。

- ② テレビ後面のネジ4本をはずす。
液晶デジタルテレビKDL-L26HVX、KDL-L32HVX、KDL-L40HVXは、この手順は不要です。③に進みます。



- ③ フック(付属)4つをネジ(付属+PSW5×L14)4本で取り付ける。



ご注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・mに設定してください。

手順5：テレビを取り付ける

警告

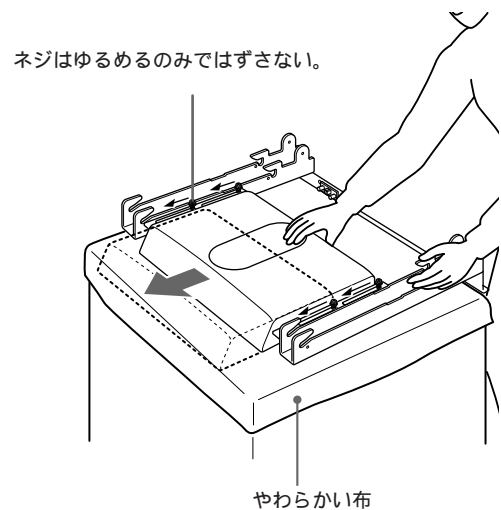
すべての作業が終わるまで、電源コードをコンセントにつながないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードやテレビを足に引っかけると、転んでけがの原因となることがあります。

1

壁掛けユニットSU-PW3Mに50インチのテレビを取り付ける場合のみ、ウーファースピーカーの位置を変える必要があります。

ウーファースピーカーの位置を変える。

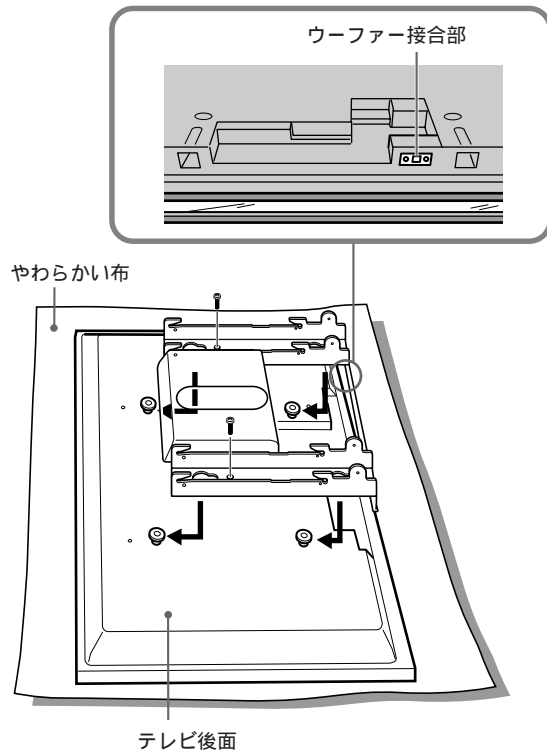
- ① ウーファースピーカーを固定しているネジ左右2本ずつをゆるめる(約3回転)。
- ② ウーファースピーカーを図のようにして、止まるまでスライドさせる。
- ③ ①でゆるめたネジを締めつけて、ウーファースピーカーを固定する。



ご注意

手順②でウーファースピーカーを確実にスライドさせていないと、テレビ後面中央下側の接続端子部分や通風孔をふさいでしまいますので、確実にスライドさせ、手順③でしっかりネジを締め付けてください。

- 2** テレビ後面のフックにマウンティングフックユニットを引っ掛けてスライドさせ、付属のネジ (+PSW5×L14) でしっかりと留める。



ご注意

マウンティングフックユニットの底面側にはウーファー接合部があります。マウンティングフックユニットは、テレビのウーファー接合部に確実に差し込みながら、スライドさせてください。

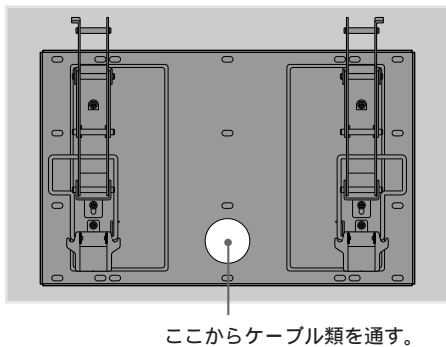
- 3** テレビに付属の電源コードおよび接続ケーブルをつなぐ。

テレビの後面に電源コードおよび接続ケーブルをつないでください。接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

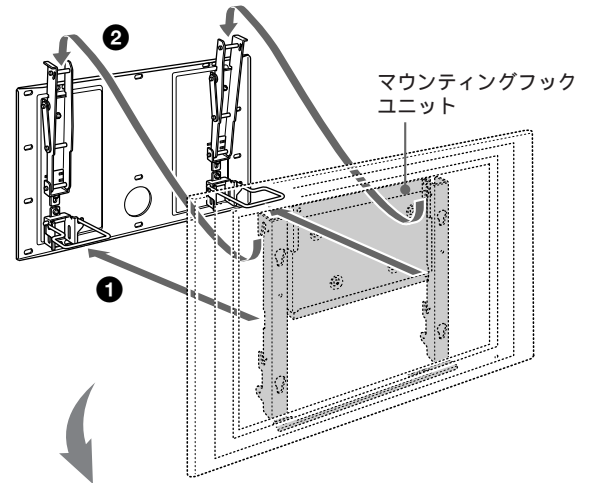
壁の中にケーブル類を配線するときは、用意した穴 (㊦裏表紙) にケーブル類を通してください。

ご注意

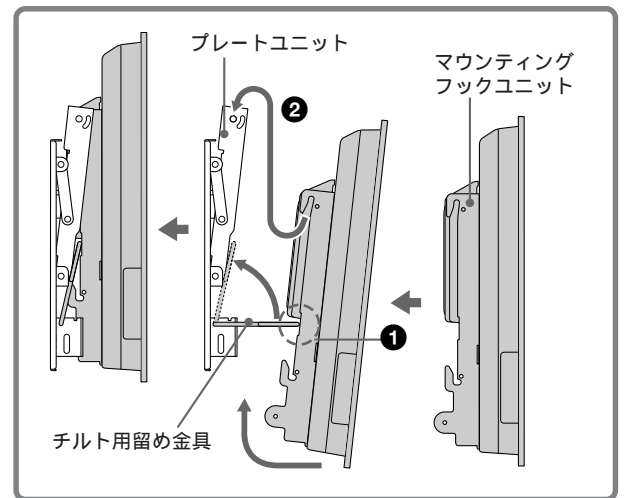
壁の中の配線、電気工事は専門業者にご依頼ください。



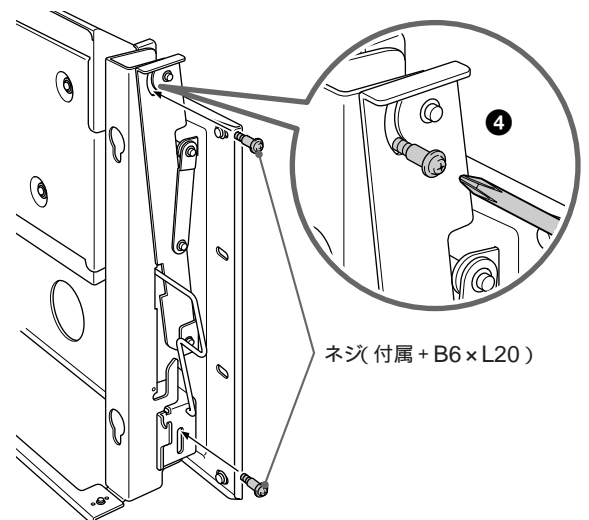
- 4** テレビをプレートユニットに取り付ける。
- ① マウンティングフックユニット縦軸中央のきりかきをプレートユニットのチルト用留め金具の横軸にあてる。
 - ② テレビをプレートユニットのチルト用留め金具に押しあてながら、下から少しずつ持ち上げて、マウンティングフックユニット上側のフックをアームの横軸に掛ける。
 - ③ 4か所のフックが確実に掛かっているかを確認する。
 - ④ マウンティングフックユニットの上下左右4か所をネジ (付属+B6×L20) でしっかりと締めつける。



真横から見たところ



右側面



取り付け完了を確認する

以下の最終確認を行ってください。

- マウンティングフックユニットのフック上辺4か所は軸に確実に掛かっていますか。
- ケーブル類がねじれたりはさまったりしていませんか。
- マウンティングフックユニットを取り付けたネジ(付属+B6×L20)上下左右4か所は確実に締められていますか。

警告

不完全な取り付けは、製品の落下によるけがや破損の原因となります。また、電源コードなどの不適切な処理は、ショートによる感電や火災を引き起こす恐れがあります。安全のために確認作業を確実に行ってください。

ウーファースピーカーの動作確認をする

この壁掛けユニットにはウーファースピーカーが内蔵されています。取り付け完了後、テレビの電源を入れてウーファースピーカーから音が出ることを確認してください。

マウンティングフックユニットとテレビが正しく取り付けられていないとウーファースピーカーから音が出なかったり、テレビの電源を入れてからしばらくすると、メッセージが表示されます。

ご注意

壁掛けユニットにテレビを取り付けて使用すると、その視聴環境によっては低音域が強調されてしまう場合があります。取り付け後、テレビ本体のウーファースピーカーレベルの設定で好みの音質(低音域)に調整してください。詳しくはテレビ本体の取扱説明書をご覧ください。

テレビをはずすには

販売店様・特約店様用

1

コンセントから電源コードを抜く。

2

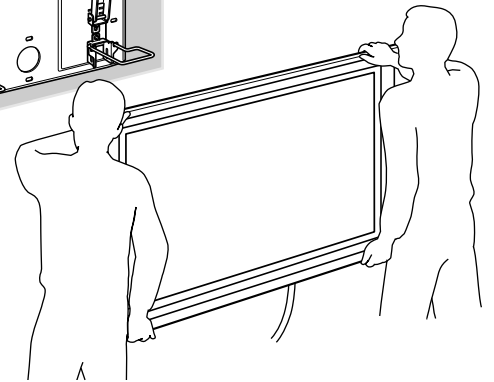
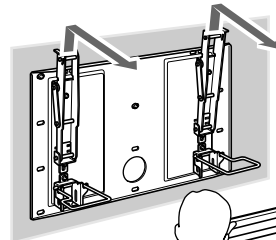
マウンティングフックユニットの上下左右のネジ4本(⑦7ページ手順4の④)をはずす。

3

テレビを2人以上で持ち、上に持ち上げてははずす。

警告

- テレビは、必ず2人以上で持って移動させてください。
- テレビをはずすときは、ケーブル類を引っ掛けないようにご注意ください。
- テレビをはずすときは、手や指を傷つけないようにご注意ください。



ご注意

テレビ上下の透明部は持たないように注意して運んでください。

新たに外部機器をつなぐときは

お客様・販売店様・特約店様用

警告

- 必ず2人以上で作業してください。
- 手や指を傷つけないようにご注意ください。

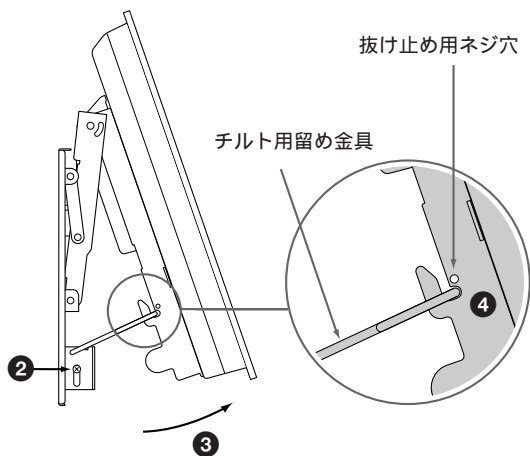
1 テレビを持ち上げる。

- コンセントから電源コードを抜く。
- マウンティングフックユニット下側の左右2か所のネジ(⑦7ページ手順4の④)をはずす。
- テレビを手前に少しずつ持ち上げる。

ご注意

テレビ下方の透明部は持たないでください。また、作業中にテレビから手を離さないでください。離すとテレビが壁にぶつかり、故障の原因となります。

- プレートユニットのチルト用留め金具がマウンティングフックユニットのフックに掛かり、奥の溝に収まったことを確認して、テレビから手を離す。
- チルト用留め金具が抜けないように、②でははずしたネジ左右1本ずつを抜け止め用ネジ穴に差し込み、しっかりと締めつける。



2 外部機器の接続ケーブルをテレビにつなぐ。

3

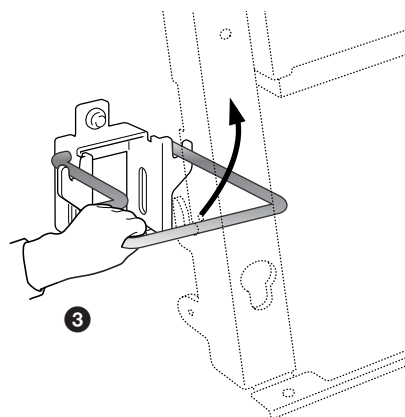
テレビを元に戻す。

- 手順1「テレビを持ち上げる」の⑤で取り付けしたネジ2本をはずす。
- テレビを少し持ち上げ、チルト用留め金具をフックからはずす。

ご注意

テレビ下方の透明部は持たないでください。また、作業中にテレビから手を離さないでください。離すとテレビが壁にぶつかり、故障の原因となります。

- チルト用留め金具の持ち手部分をつかんで持ち上げながら、テレビをゆっくりと元の位置に戻す。
- マウンティングフックユニット下側2か所を、①でははずしたネジ2本でしっかりと締めつける。
- ケーブル類がねじれたりはさまったりしていないことを確認して、電源コードをコンセントにつなぐ。

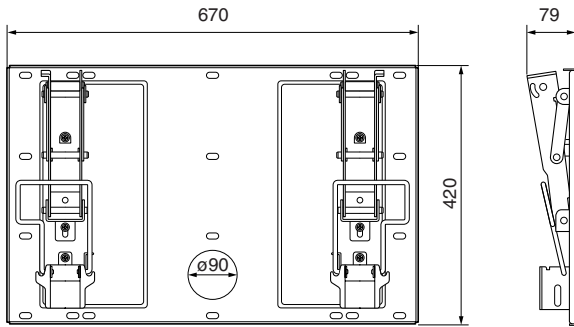


主な仕様

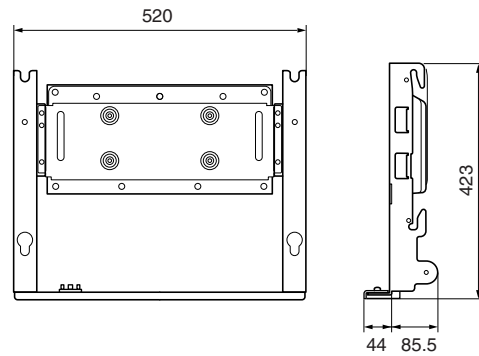
単位：mm

SU-PW3S

プレートユニット

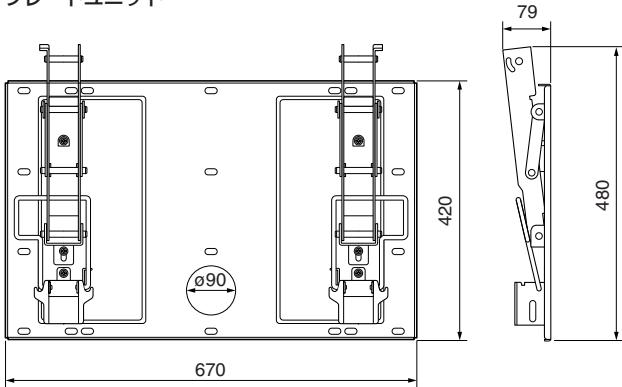


マウンティングフックユニット

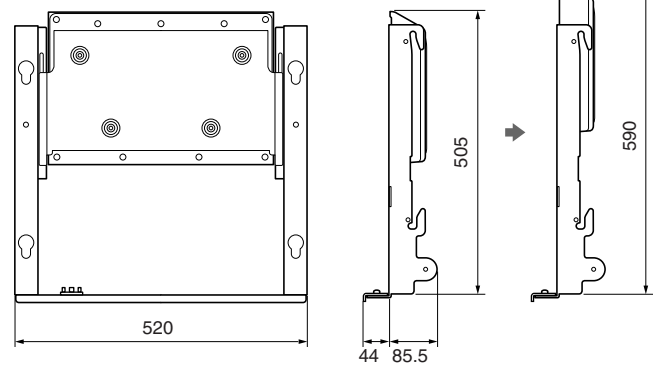


SU-PW3M

プレートユニット



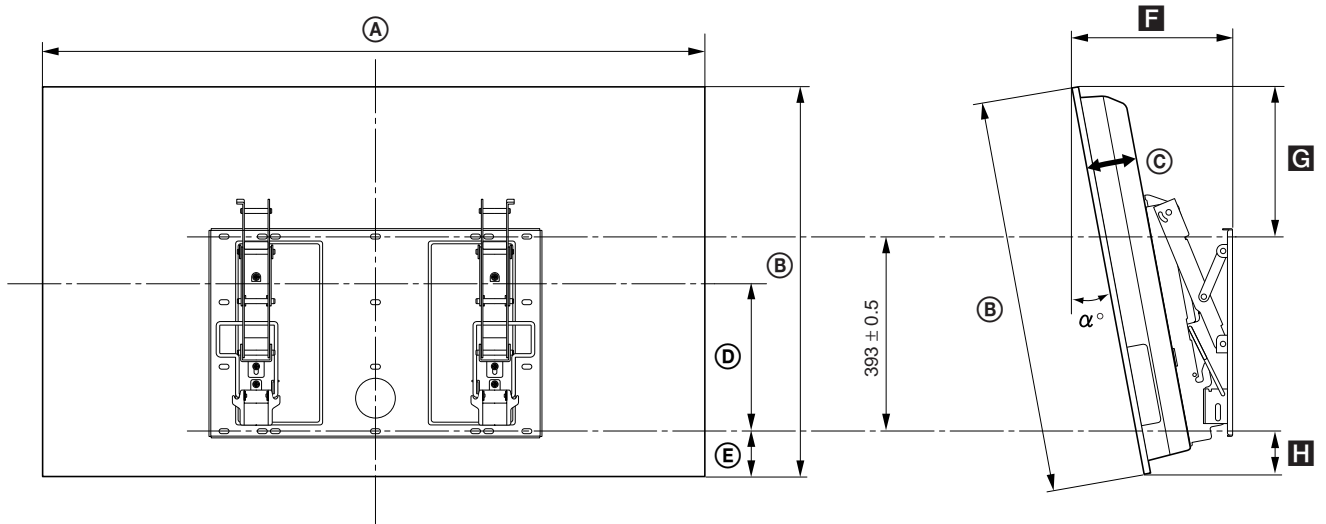
マウンティングフックユニット



質量	SU-PW3S	13kg
	SU-PW3M	15kg
使用スピーカー	SU-PW3S	10cm (1)
	SU-PW3M	10cm (2)
音声出力	実用最大：	
	SU-PW3S	15W (JEITA)
	SU-PW3M	50W (JEITA)
	負荷インピーダンス	4Ω

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

テレビ取り付け寸法表



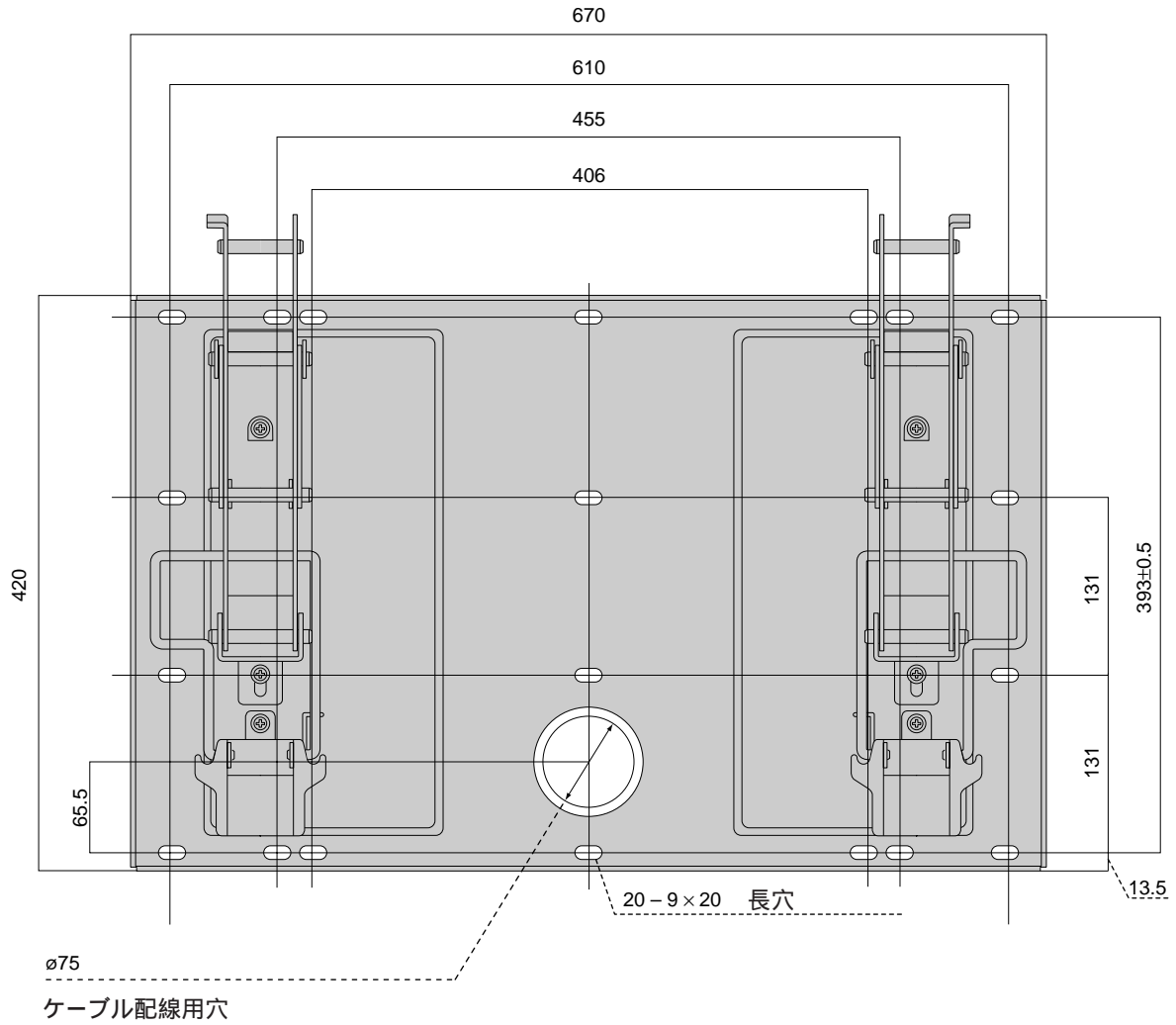
SU-PW3S

テレビ型名	テレビ寸法					取り付け角度による長さ				重量 (×4)*
	単位: mm	単位: mm	単位: mm	単位: mm	単位: mm	取り付け角度(°)	F	G	H	
KDL-L26HVX	804	479	144.5	197	47	0°	240.5	41	47	19 (76) Kg
						5°	274	25	61	
						10°	306	7	75	
						15°	335	-13	86	
						20°	362	-34	95	
KDL-L32HVX	924	541	98.5	226	49	0°	194.5	100	49	23 (92) Kg
						5°	234	87	60	
						10°	271	73	69	
						15°	306	56	76	
						20°	338	38	82	

SU-PW3M

テレビ型名	テレビ寸法					取り付け角度による長さ				重量 (×4)*
	単位: mm	単位: mm	単位: mm	単位: mm	単位: mm	取り付け角度(°)	F	G	H	
KDE-P37HVX	1048	599	89	246	58	0°	185	148	58	36 (144) Kg
						5°	228	136	68	
						10°	270	122	76	
						15°	309	106	82	
						20°	346	88	84	
KDE-P42HVX	1139	672	89	283	58	0°	185	221	58	42 (168) Kg
						5°	235	209	68	
						10°	282	194	76	
						15°	328	176	82	
						20°	371	157	84	
KDE-P50HVX	1336	789	89	343	56	0°	185	340	56	54 (216) Kg
						5°	245	327	66	
						10°	303	310	74	
						15°	359	291	80	
						20°	412	268	83	
KDL-L40HVX	1114	647	114.5	267	61	0°	210.5	194	61	29 (116) Kg
						5°	258	180	73	
						10°	303	163	83	
						15°	346	144	91	
						20°	386	123	96	

* 取り付ける壁にはテレビ重量の4倍に耐えられる強度を要します。



● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 お客様ご相談センター
 ● ナビダイヤル……………0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
 ● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
 ● FAX……………0466-31-2595
 受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
 お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。